

理科

理科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
自然の事物、現象に理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などの基本的な技能を身につけること。	観察、実験から得た結果から、課題を見付けだし、探求する力をつけること。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験の基本的な方法として、理解はしているが定着はしていない。ア 観察・実験の結果を基に、結果をまとめる力はあるが、課題を見付け出す探究力は不十分である。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験前の技能の定着を図るため、一人1台端末を活用し、各自で方法の確認を行い、実験・観察を進めさせる。ア 観察・実験のまとめとして、結果から規則性を発見させる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期からの実験・観察時前に行く。ア 2学期からの実験・観察のまとめの時間に行く。イ 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 知識の定着と化学分野や物理分野の実験スキルが身に付いていない。ア 実験結果を的確に整理することができず、結果から課題を見付け出せない。イ 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を利用して実験前に必ず視覚的に分かるように確認する。 用語を2週に一度テストで確認させる。ア 得た結果をフローチャート形式でまとめ、そこから課題を見いだせるようワークシートを工夫する。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 9月から2週に一度実験器具の使い方は9月後半の実験から10月以降 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 知識は身に付いているが、活用ができない生徒が多い。ア 観察、実験から得た結果から、課題を見つけ科学的に段階を踏んで考えていく力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 用語の小テストと授業最初の演習で見方・考え方を養う。ア 実験結果から自分たちが気になった部分に注目させ、そこから考えていけるようなレポート指導をする。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 9月から毎時間 9月後半から始まる実験から 	

<p>■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>1年 Google のブレッドシートを活用した実験のまとめ 2年 Google Classroom を活用した実験、既習事項の振り返り 3年 Google Slide を活用した、レポートの作成、発表 i movie を利用した、実験観察記録と結果の振り返り</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>1年 問題集を活用した前時及び本時の内容の振り返り 2年 学習ノートを活用した振り返りと、単元末の振り返りの実施 3年 提示した授業計画に基づく、見通しをもった学習計画と単元末の振り返りの実施</p>
---	---